

# あまがさき・地名めぐり

地名には歴史が息づいています。尼崎の地名のゆかりから、日本史の中でみたことがあるエピソードにめぐりあえることがあります。「あまがさき・地名めぐり」で、ふるさと・尼崎の歴史を訪ねてみませんか。

## まずは 尼崎とは？

漁民を意味するアマ、先端を意味するサキが結び付いて「尼崎」。武庫川、猪名川や大阪湾の潮流が運ぶ砂が海に面して溜まったため海との関わりが深く、「海崎」「海土崎」と表記されることもありました。



JR 尼崎駅前の新風景

## AREA 1

H-3

いなでら  
猪名寺 (跡)



古代に渡来人の「猪名部」と呼ばれる人々が住む地に法隆寺様式の寺院を建てたことが由来。古くは竹笹の生い茂る野で、歌枕として万葉集にも「しなが鳥 猪名野を来れば有馬山 夕霧立ちぬ宿(やどり)はなくて」などと歌われています。

J-3

たの  
田能



1461年の史料に田能村庄という地名と、田能村大和守という土豪の名が書かれています。弥生時代前期から古墳時代に至る全国的に珍しい大規模集落「田能遺跡」から、位の高い人のお墓や白銅製の腕輪、住居跡などが発見されました。

I-5

けま  
食満



ケは食物を盛る筭〔け〕という器の古語に、食物が多く取れるマ(間=土地、多く=満)が組み合わせられたとも、稲作に適した地で神社のお祈り言葉で「御食(ミケ)が満ちる」が使われることから「食満」となった、とも言われています。

A-1

マップ上の位置番号。マップは p4・5 に掲載。



御守りやおみくじを受けられる神社。神職が常駐しています。神社を紹介する文章に【代表的なご利益】を掲載しました。

J-5

白井神社



古くから「歯神さん」として親しまれ、歯の患い、健康へのご祈願や、歯科医をはじめとされる各病院の方々、また医師を志す方々が当社にお越しになり、ご加護を願って参拝されています。  
【健康祈願】【病氣平癒】

K-5

船詰神社



海路交通の神を祭っていることから通称「交通神社」とも呼ばれ、交通安全の祈禱を受ける人が多い神社です。2月3日には節分祭が行われます。  
【交通安全】【家内安全】

K-6

そのだ  
園田



中世の荘園「橘御園」から村名がつけられたとも。1889年(明治22年)の町村制により周辺18の村(猪名寺・田能・御園など)が合併して「園田村」となりました。1947年(昭和22年)に尼崎市と合併しました。

J-6

ぜんぼうじ  
善法寺



鎌倉時代、この地域にあった寺の名前が地名の由来と言われています。中世には荘園があったとされ、今はその姿を見ることができませんが、弥生時代から平安時代にかけての遺跡が眠っています。

## お立ち寄り



つかしん



G-4

姉妹都市ドイツ・アウグスブルクの町並みをモチーフとしたショッピングセンター。命名は糸井重里さん。

田能資料館



J-3

構造や大きさなどを体感できる竪穴住居や、発掘された品を展示。入館無料。  
06-6492-1777

食満おおもと豆腐店  
うどん屋おおもと



I-5

この地で豆腐屋を営むご主人が尼崎で半世紀に及ぶ豆腐屋人生を綴る自伝「縁あって食満の豆腐屋」を出版。

園田駅周辺の商店街



K-6

駅周辺に商店街が展開。駅北西側の高架下「阪急レンタサイクル」でサイクリングはいかが。